
PT200e/PT408e/PT412e
プリンタドライバ説明書

目次

はじめに.....	1
1. プリンタドライバ.....	2
1.1. プリンタドライバについて.....	2
1.2. Windows Vista での印刷設定起動時の注意点	2
1.3. バージョン表示.....	5
1.4. 用紙.....	6
1.5. TrueType フォント	8
1.6. 動作モード.....	10
1.7. デバイスの設定.....	11
1.8. クリエイトフォント.....	12
1.9. ユーティリティ.....	15
1.10. サトー専用ポートの追加設定手順.....	16
1.10.1. サトー専用ポートの追加手順.....	16
1.10.2. サトー専用ポート設定手順.....	19
2. インストーラ起動手順.....	22
2.1. プリンタメニュー画面.....	22
2.2. プリンタドライバ画面.....	23
2.3. プリンタドライバのインストール方法選択画面.....	24
3. インストール手順.....	25
3.1. プリンタドライバ インストール画面.....	25
3.2. 接続先ポート選択画面.....	27
3.3. ポート選択画面.....	28
3.3.1. シリアルポート選択画面.....	28
3.3.2. SATO COM ポート選択画面	28
3.3.3. SATO LAN ポート登録画面	29
3.3.4. SATO USB ポート登録画面	30
3.4. インストールの終了画面.....	31
3.5. 特殊設定画面.....	32
4. アンインストール手順.....	33
4.1. アンインストール画面.....	33
4.2. アンインストール プリンタ選択画面.....	34
4.3. アンインストール 終了画面.....	35
5. 注意事項.....	36
5.1. インストール起動時のエラーメッセージ.....	36
5.2. アンインストール時のポート共有メッセージ.....	37

はじめに

本書で説明しているプリンタドライバ画面は、特に断りがない限り PT408e を使用しています。そのため、実際にお使いになるプリンタ機種によっては、画面構成が異なる場合がありますので、ご了承ください。

また、本書のプリンタドライバ、インストールに関連する画面は、Windows Vista を使用しています。Windows2000/XP/Server2003/Server2008 では画面構成が異なる場合がありますので、ご了承ください。

※1 プリンタドライバは全て、32bit 版になります。64bit 版は未対応です。

※2 画面の解像度は 1024x768 ピクセル以上を推奨します。それ以下の場合一部表示されない場合があります。

1. プリンタドライバ

1.1. プリンタドライバについて

Windows2000/XP/Server2003/Vista/Server2008 用 PT408e のプリンタドライバは、「印刷設定(I)」として、独自に「プリンタ」、「用紙」、「動作モード」、「デバイスの設定」、「クリエイティブォント」、「ユーティリティ」、「TrueType フォント」の7個のタブを所有しており、各タブにおいて様々な設定が可能です。

1.2. Windows Vista での印刷設定起動時の注意点

Windows Vista で「印刷設定(I)」を設定するためには、**管理者権限**にて行う必要があります。管理者権限以外で設定値の変更、またはプリンタポートの追加などの処理を行っても、エラー画面が表示され、反映されません。指定の方法は、「プリンタ」フォルダの中にある、PT408e プリンタを選択し、「ファイル(F)」⇒「管理者として実行(A)」⇒「プロパティ(R)」と選択するか、図 1.2.1 のように PT408e 選択⇒右クリック⇒「管理者として実行(A)」⇒「プロパティ(R)」と選択します。

Windows Vista 以外の OS の場合は「印刷設定(I)」を設定する為には、図 1.2.2 に示すように「プリンタ」フォルダの中にある、PT408e プリンタを選択し、「プリンタ(P)」→「印刷設定(F)」メニューを選択するか、右クリックして「印刷設定(I)」メニューを選択します。

注意 1) 「印刷設定」で設定可能な項目には、「プリンタ設定ツール」で設定可能な項目と重複するものがありますが、プリンタドライバを使用して印字を行う場合は「印刷設定」での指定が有効となります。またアプリケーションソフトの印刷ダイアログから呼び出すプロパティでは、一時的な設定変更を目的としており、機能も限定されています。

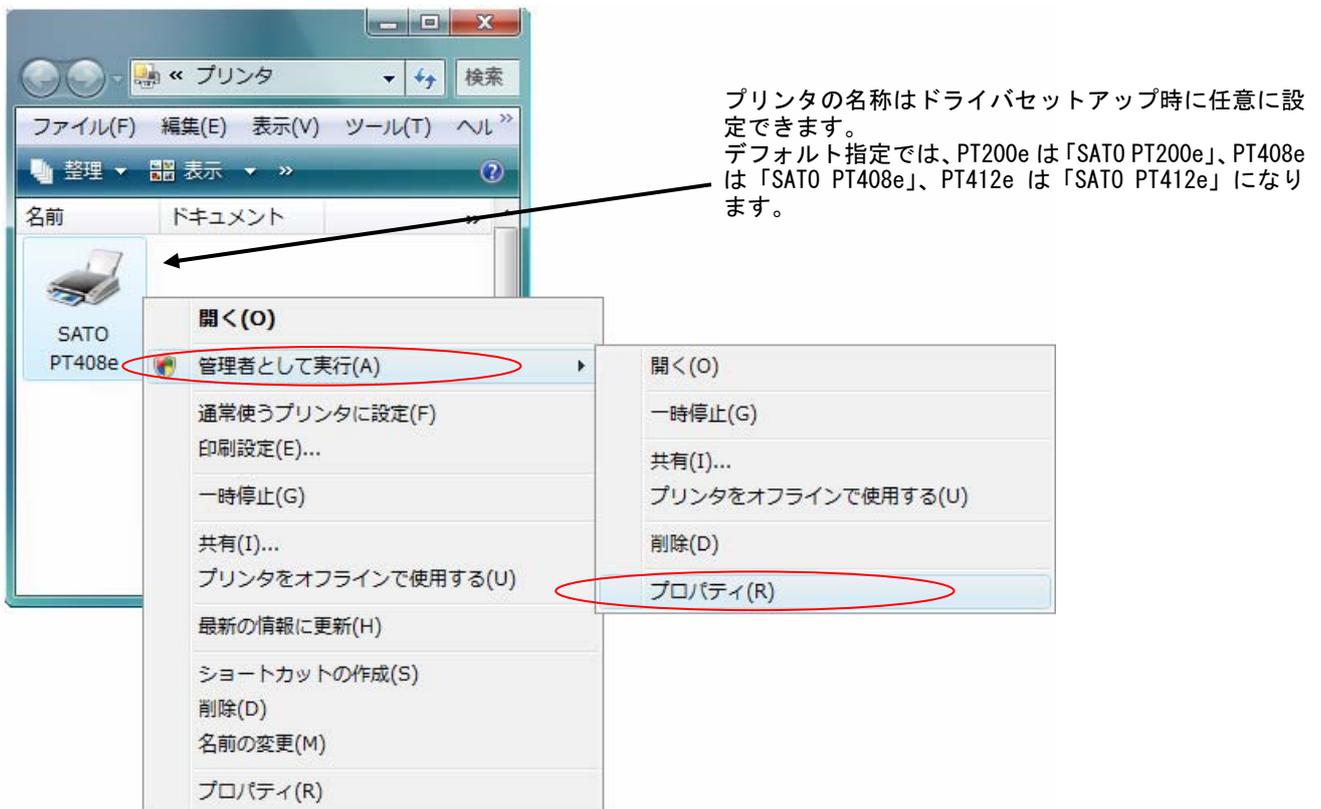


図 1.2.1. 「プリンタフォルダ」画面
Windows Vista の場合

※Windows Vista での「印刷設定」

Windows Vista でのプロパティに関する設定変更は、全て **管理者権限** が必要です。従って、図 1.2.1 のように「SATO PT408e」を右クリック⇒「管理者として実行 (A)」⇒「プロパティ (R)」と選択し、プリンタプロパティの「全般」タブの「印刷設定 (I)」から設定します。
管理者権限以外では各種設定値の変更は一切行なえません。



図 1.2.2. 「プリンタフォルダ」画面
Windows 2000/XP/Server2003/Server2008 の場合

※Windows 2000/XP/Server2003/Server2008 での「印刷設定」

Windows Vista 以外での印刷設定は、「SATO PT408e」を右クリックし、次に「プロパティ (R)」をクリックし、プリンタプロパティの「全般」タブの「印刷設定 (I)」から設定します。

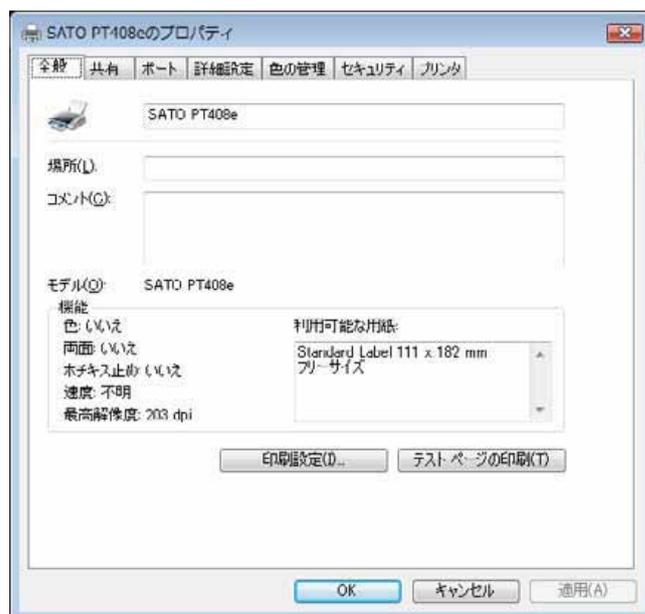


図 1.2.3 「プロパティ」の「全般タブ」画面

Windows 2000/XP/Server2003/Vista/Server2008 の場合



図 1.2.4 「印刷設定」画面

Windows 2000/XP/Server2003/Vista/Server2008 の場合

※Version の表示が 0.00 になっておりますが、実際に表示した際には対応した Version が表示されます。

1.3. バージョン表示

「バージョン情報」タブをクリックすることで、プリンタドライバのバージョンを表示します。



図 1.3.1. 「バージョン情報」画面

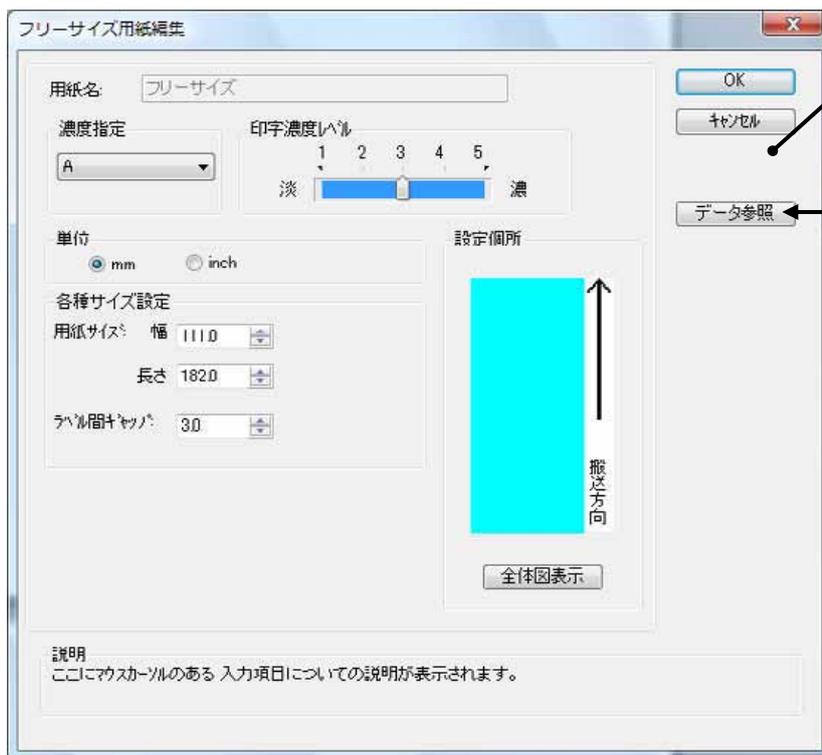
PT408e/412e Windows 2000/XP/Server2003/Vista/Server2008 の場合



図 1.3.3. 「バージョン情報」画面

PT200e Windows 2000/XP/Server2003/Vista/Server2008 の場合

※Versionの表示が0.00になっておりますが、実際に表示した際は対応したVersionが表示されます。



設定内容は図 1.4.2 と同様です。

(14) 各設定値を登録済みの用紙から参照します。クリックすることにより、図 1.4.4 に示す画面が表示されます。

図 1.4.3. 「フリーサイズ用紙編集」画面

(15) 設定値を参照する用紙を選択します。

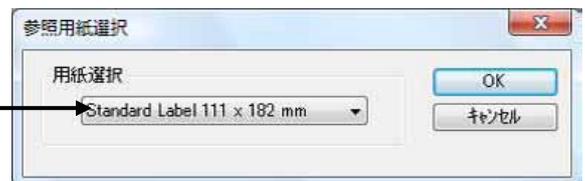


図 1.4.4. 「参照用紙選択」画面

1.5. TrueType フォント

図 1.5.1 に「TrueType フォント」画面を示します。「TrueType フォント名」にはプリンタに内蔵している TrueType フォントが表示されます。

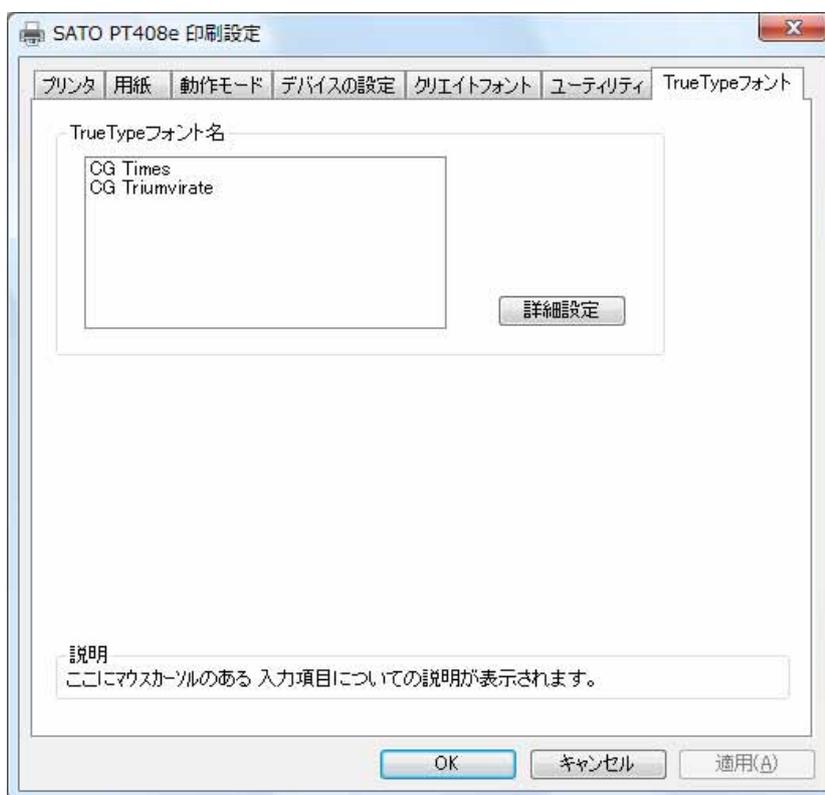


図 1.5.1. 「TrueType フォント」画面

※プリンタ内蔵の TrueType フォントが PC 側にもインストールされている必要があります。
2 種の TrueType フォント「CG Times」および「CG Triumvirate」は、プリンタドライバのインストール時に PC にインストールされます。

図 1.5.1 に示すシート内の「TrueType フォント名」に表示されているフォントを選択し、「詳細設定」ボタンを選択することにより、図 1.5.2 に示す「TrueType フォント詳細設定」ダイアログが表示されます。ここでは選択した TrueType フォントに対して以下の設定を行うことができます。



図 1.5.2. 「TrueType フォント詳細設定」ダイアログ

① フォント種別

レジデントフォントコマンドとして出力するのかビットイメージコマンドとして出力するのかを指定します。

② 連番設定

選択した TrueType フォントに連番機能を設定することができます。この機能は「クリエイティブフォント」画面における「装飾フォント」の「連番設定」機能と同様です。

「フォント種別」において「ビットイメージコマンド」を指定した場合には連番設定項目はマスク表示され設定不可になります。

1.6. 動作モード

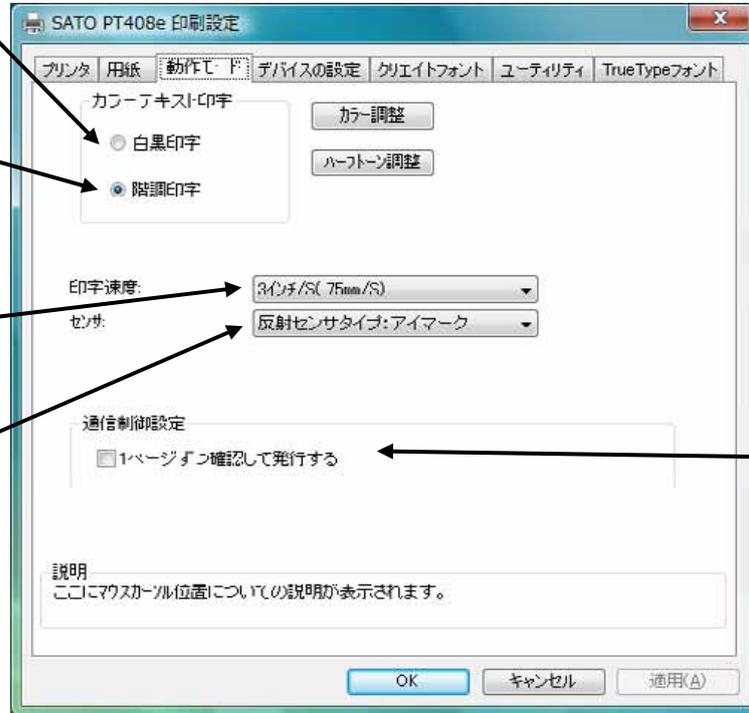
図 1.6 に「動作モード」画面を示します。ここでは以下の設定を行います。

(1) カラーテキスト印字を白黒印字に指定します。文書中の文字列は指定されている色情報に関係無く黒色印字されます。

(2) カラーテキスト印字を階調印字に指定します。文書中の文字列は指定されている色情報を反映して階調印字されます。

(3) 印字速度を選択します。90度回転のバーコードや罫線などの印字レイアウトや使用用紙種により、印字速度・濃度の調整が必要になります。

(4) センサを、反射センサタイプ：アイマーク、透過センサタイプ：キヤップから選択します。



(5) 通信制御設定を選択します。チェックすることで、1ページずつ確認して発行することができます。

図 1.6. 「動作モード」画面

1.7. デバイスの設定

図 1.7 に「デバイスの設定」画面を示します。ここでは以下の設定を行います。

(1) (2)の「情報を取得」により取得したプリンタの設定を表示します。リストから設定を選択することにより一時的に設定を変更することも可能です。

(2) 接続されているプリンタの情報を取得します。

(3) 接続されているプリンタファームウェア情報を取得します。

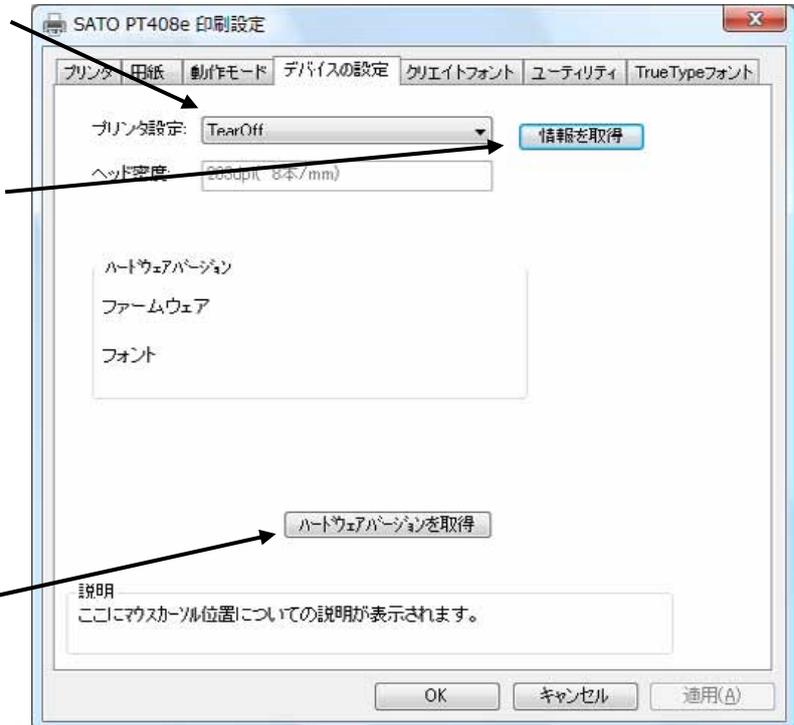


図 1.7. 「デバイスの設定」画面

1.8. クリエイトフォント

図 1.8.1 に「クリエイトフォント」画面を示します。ここでは「装飾フォント」と「バーコードフォント」の設定を行います。

「装飾フォント」とは、レジデントフォントに対して倍率や回転角度、連番機能等を任意に設定し、それらの設定を反映させた状態のフォントを1つのフォントとして登録したものです。アプリケーションソフトの書類上にデータを入力し、そのデータのフォントを装飾フォントにすることにより、印字結果には倍率や回転角度、連番等の設定が反映されます（アプリケーションソフトの編集画面上には反映されません）。「バーコードフォント」とは、アプリケーションソフトの書類上に入力したデータのフォントをバーコードフォントにすることにより、印字の際にはそのデータがバーコード化されるというものです。

装飾フォントとバーコードフォントは合計 70 個まで登録可能です。

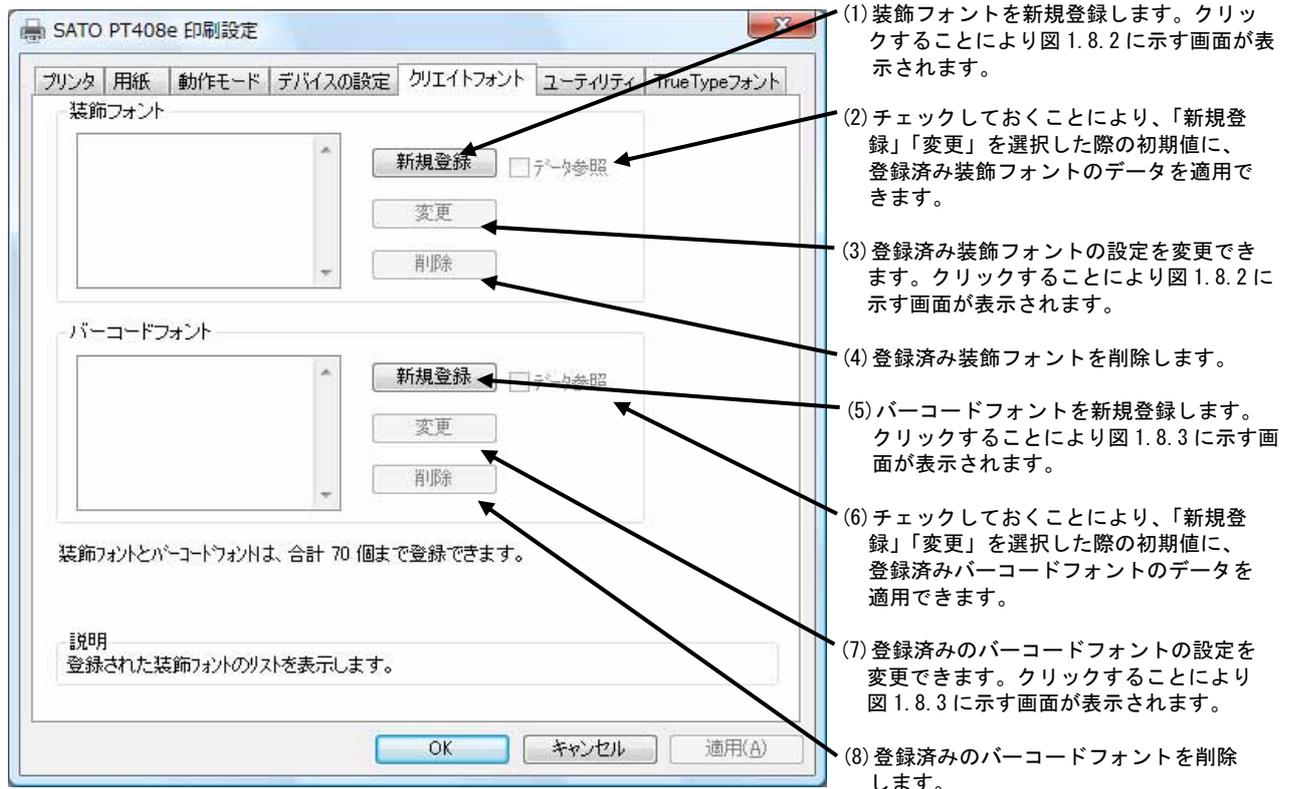


図 1.8.1. 「クリエイトフォント」画面

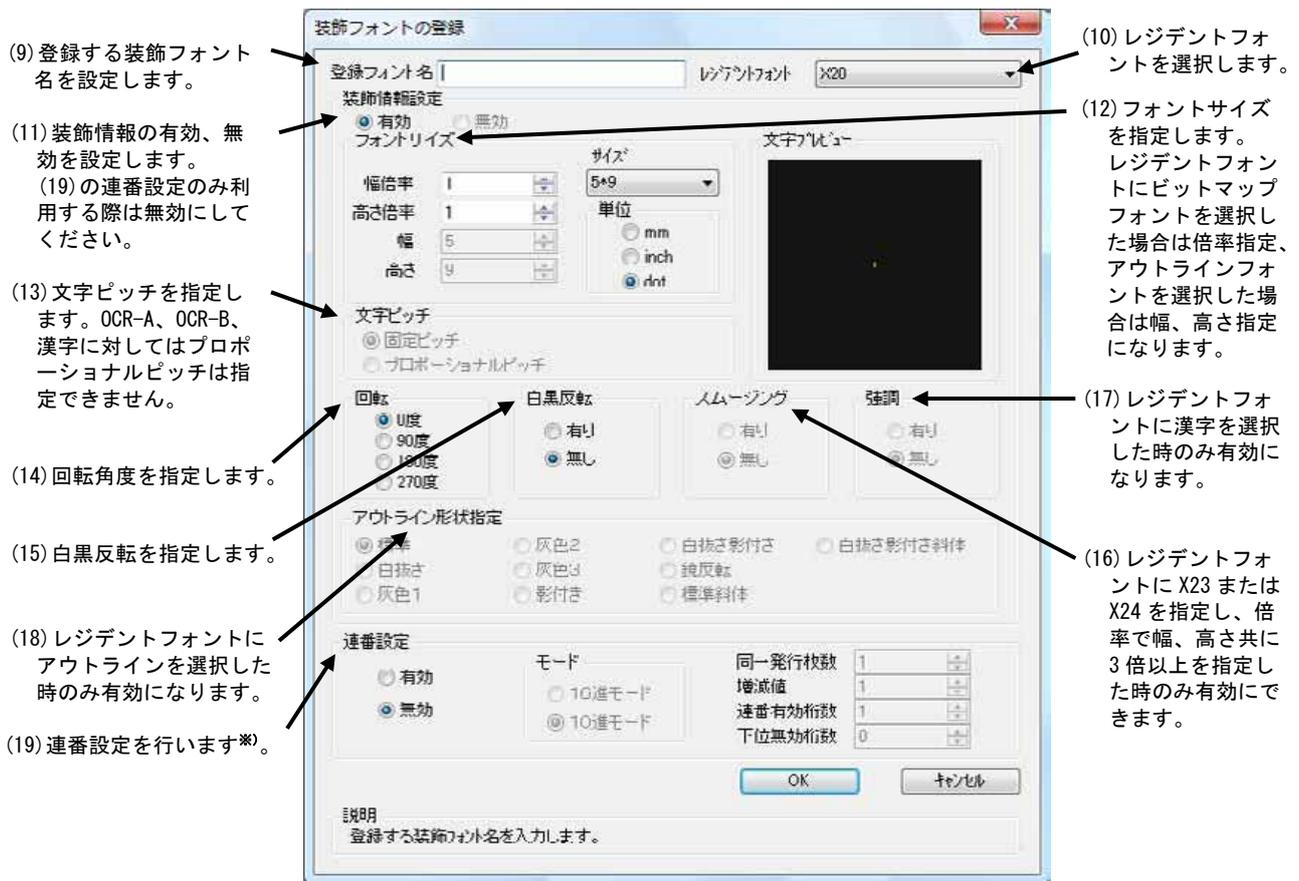


図 1.8.2. 「装飾フォントの登録」画面

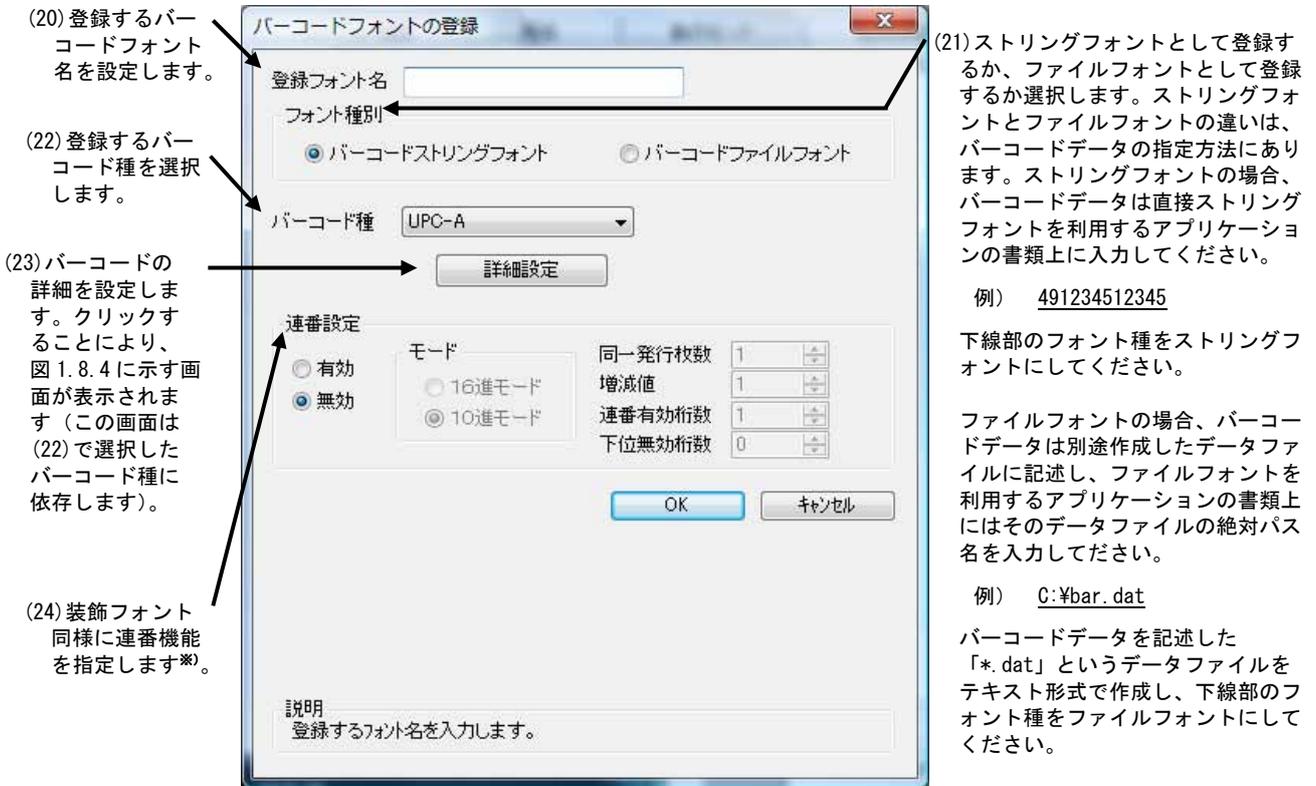


図 1.8.3. 「バーコードフォントの登録」画面

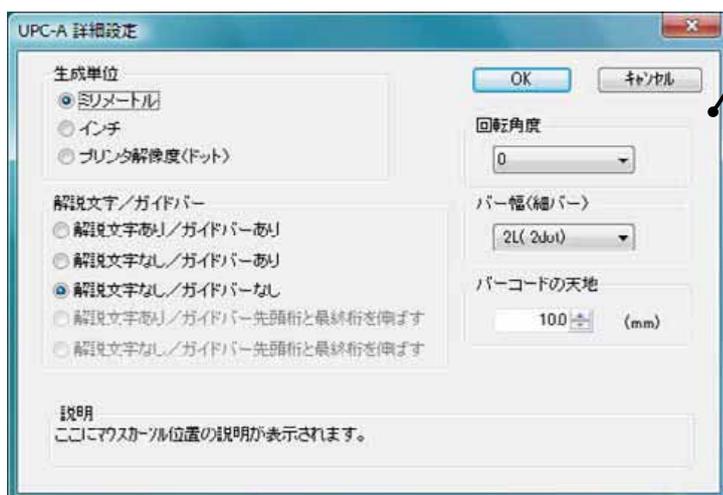


図 1.8.4. 「UPC-A 詳細設定」画面

【注意】

※プリンタドライバのクリエイティブフォントでは、UPC アドオンコードは未対応となります。

※) 連番設定例

図 1.8.2(19)、図 1.8.3(24)の連番設定における各項目の内容を以下に示します。

- 有効・無効 : 連番設定を有効にするか無効にするか選択します。無効にする際は図 1.8.2(11)の装飾情報設定が有効になっている必要があります。
- 16進モード・10進モード : 連番の対象を16進数とみなすか10進数とみなすか設定します。
- 同一発行枚数 : 何枚発行する度に番号を加算するか設定します。
- 増減値 : 連番毎の加算値または減算値を設定します。
- 連番有効桁数 : 連番させる桁数を設定します。
- 下位無効桁数 : 連番させる最小桁以下の桁数を設定します。

モード：16進モード 同一発行枚数：2 増減値：5 連番有効桁数：2 下位無効桁数：3
 印字データの初期値：00F8001とした場合
 連番有効桁は図 1.8.5に示すようになります。

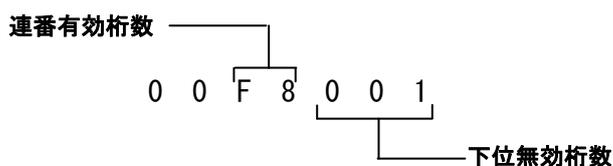


図 1.8.5. 連番有効桁

連番動作は図 1.8.6に示すようになります。

発行枚数	印字データ	
1 枚目	00F <u>8</u> 001	同一発行枚数 2
2 枚目	00F <u>8</u> 001	
3 枚目	00F <u>D</u> 001	
4 枚目	00F <u>D</u> 001	
5 枚目	00 <u>2</u> 001	
6 枚目	00 <u>2</u> 001	
7 枚目	00 <u>7</u> 001	
8 枚目	00 <u>7</u> 001	

図 1.8.6. 連番動作

図 1.8.3 の(22)「バーコード種」で選択したバーコードに対応した詳細設定ダイアログが表示されます。以下に登録可能なバーコードの種類を示します。

- UPC-A
- UPC-E
- JAN-8/EAN-8
- JAN-13/EAN-13
- CODE39
- CODE93
- CODE128 (128A, 128B, 128C)
- GS1-128 (UCC/EAN-128)
- ITF
- インダストリアル 2of5
- マトリックス 2of5
- CODABAR (NW-7)
- カスタマバーコード
- QR コード(モデル 1)
- QR コード(モデル 2)
- QR コード(マイクロ QR)
- PDF417
- MAXI コード
- GS1 データマトリックス (ECC200)
- マイクロ PDF
- 合成シンボル

1.9. ユーティリティ

図 1.9 に「ユーティリティ」画面を示します。ここではプロパティの各タブで設定した値をインシヤルファイルとして保存したり、保存されたインシヤルファイルを読み込むことにより、各設定を一括設定することができます。

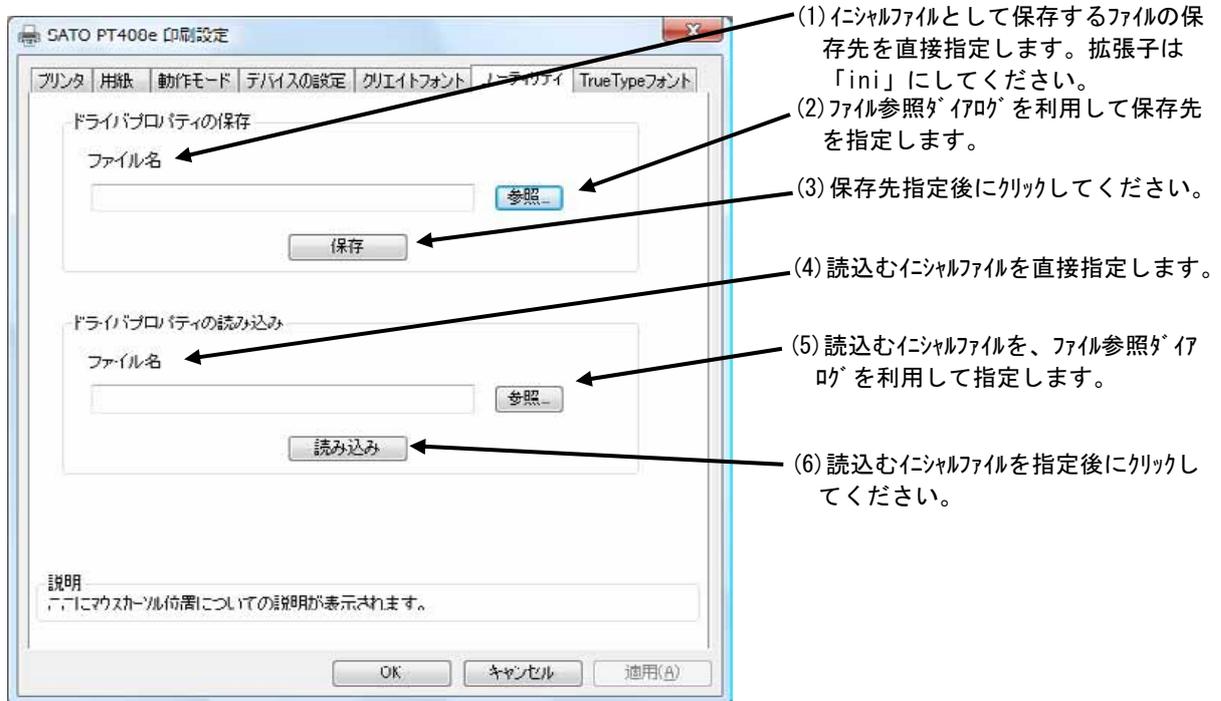


図 1.9. 「ユーティリティ」画面

1. 10. サトー専用ポートの追加設定手順

「印刷先のポート」に「サトー専用ポート」を選択すると、各ポートに対して詳細な設定が可能となります。以下にサトー専用ポートの追加手順と各ポートの設定手順を示します。

1. 10. 1. サトー専用ポートの追加手順

図 1. 10. 1. 1 に「ポート」画面を示します。

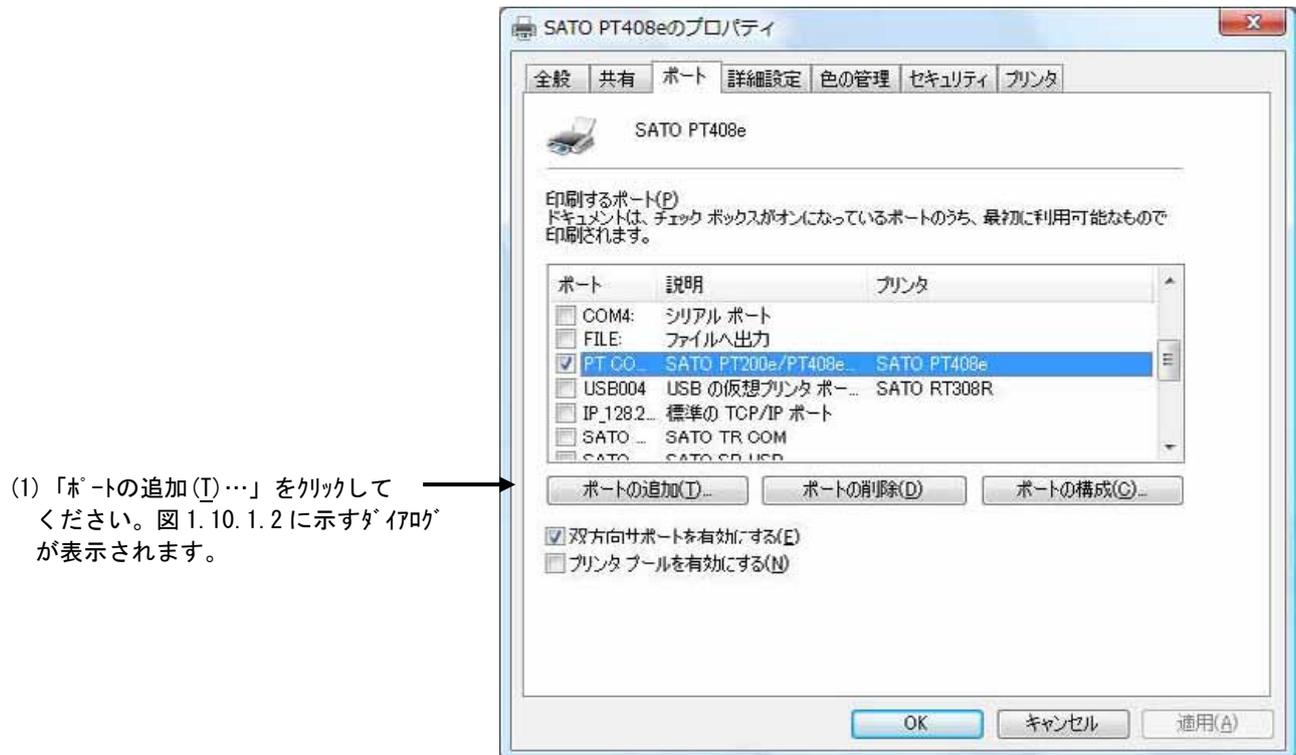


図 1. 10. 1. 1. 「ポート」画面

- (2) 「SATO PT … Port Monitor」の中から、ご使用になる接続先デバイスに対応したものを選択し「新しいポートの種類(N)…」ボタンをクリックしてください。図 1. 10. 1. 3～図 1. 10. 1. 5 に示すように、追加するポートに対応したダイアログが表示されます。

接続先デバイスが COM ポート のとき選択してください。
接続先デバイスが LAN ポート のとき選択してください。
接続先デバイスが USB ポート のとき選択してください。



図 1. 10. 1. 2. 「ポート追加」ダイアログ

①シリアル (SATO PT COM) ポート



図 1.10.1.3. 「SATO COM ポートの追加」ダイアログ

②LAN (SATO PT LAN) ポート

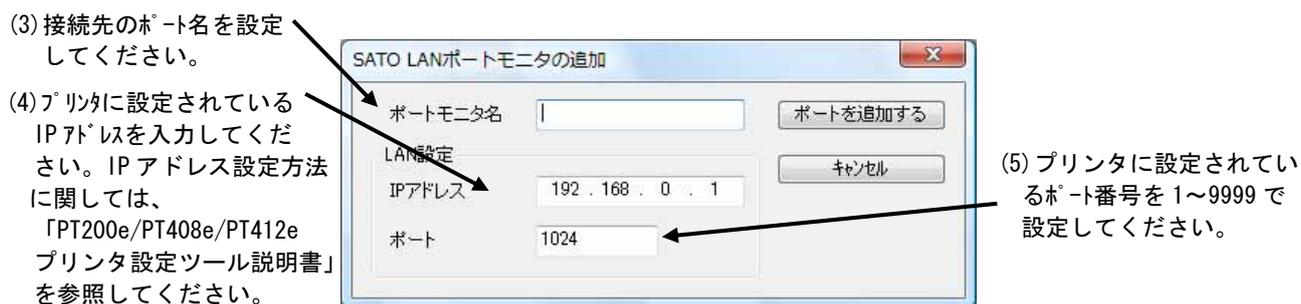


図 1.10.1.4. 「SATO LAN ポートの追加」ダイアログ

※ポート名は、他機種で使用していないポート名を指定する必要があります。
同じポート名を使用した場合には、他機種のポートが選択される場合があります。

③USB (SATO PT USB) ポート

「USB インタフェースマニュアル」も参照してください。



(a)



(b)



(c)

図 1.10.1.5. 「SATO USB ポートの追加」ダイアログ

※ポート名は、他機種で使用していないポート名を指定する必要があります。

同じポート名を使用した場合には、他機種のポートが選択される場合があります。

1.10.2. サトー専用ポート設定手順

図 1.10.2.1 に「ポート」画面を示します。

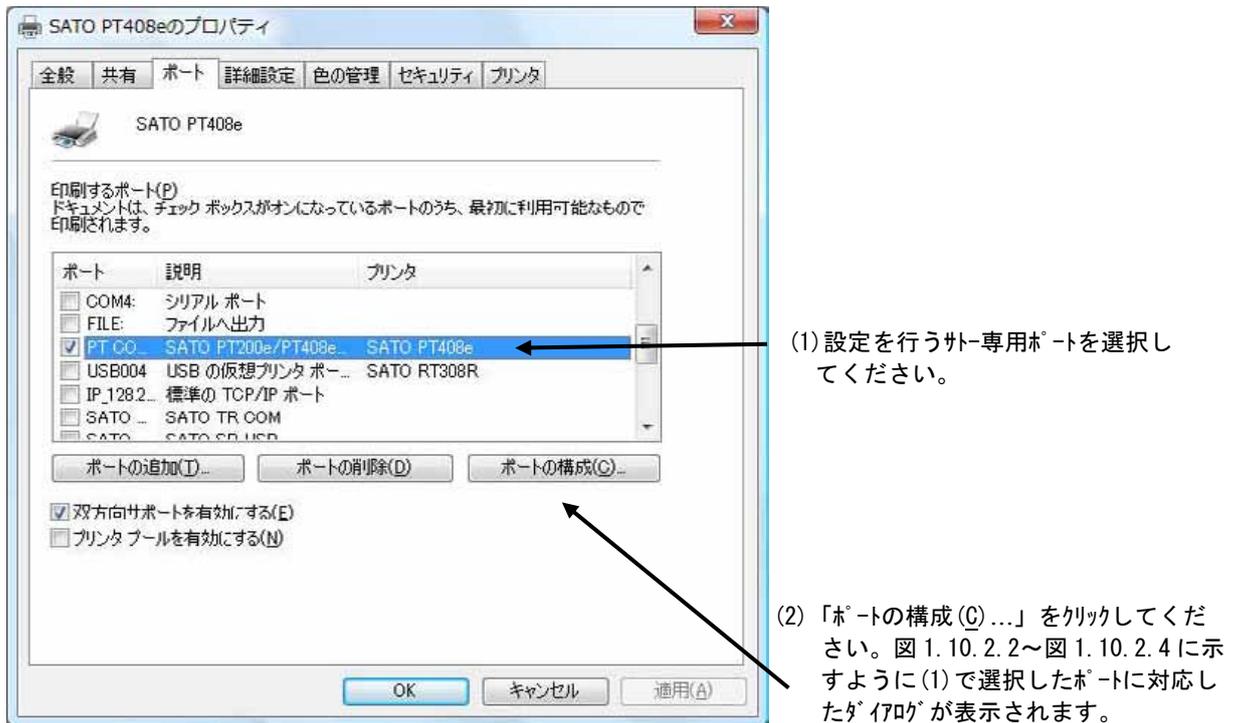


図 1.10.2.1. 「ポート」画面

①シリアル (SATO PT COM) ポート

図 1.10.2.2 に「SATO COM ポートの設定」ダイアログを示します。

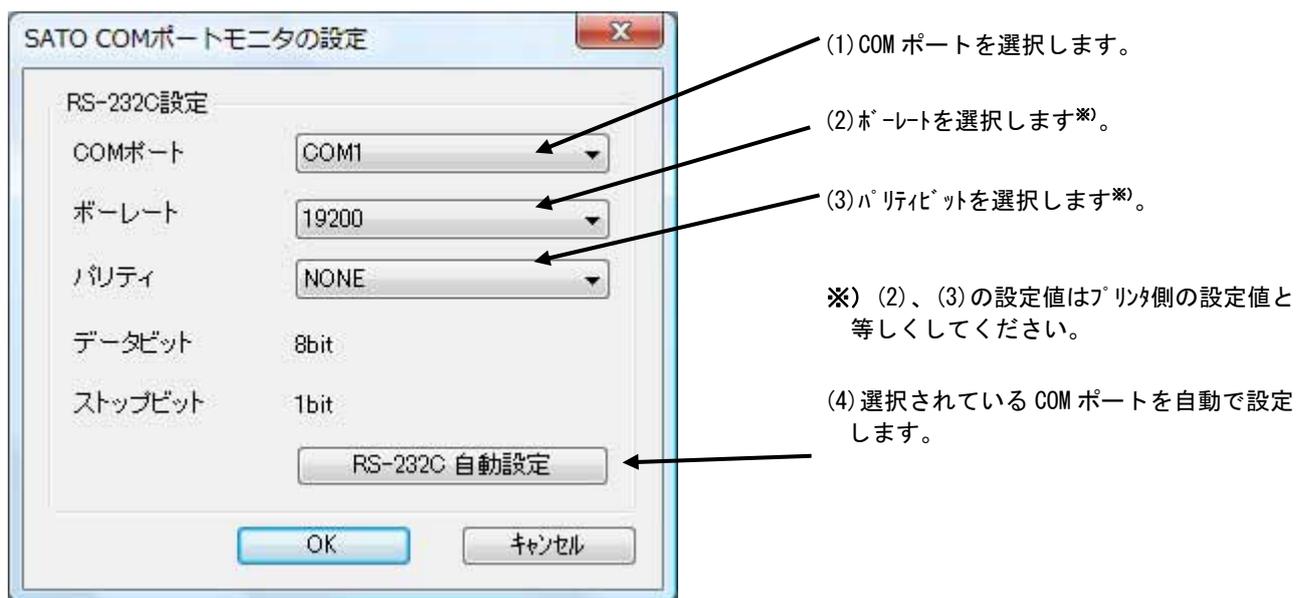


図 1.10.2.2. 「SATO COM ポートの設定」ダイアログ

②LAN (SATO PT LAN) ポート

図 1.10.2.3 に「SATO LAN ポートの設定」ダイアログを示します。

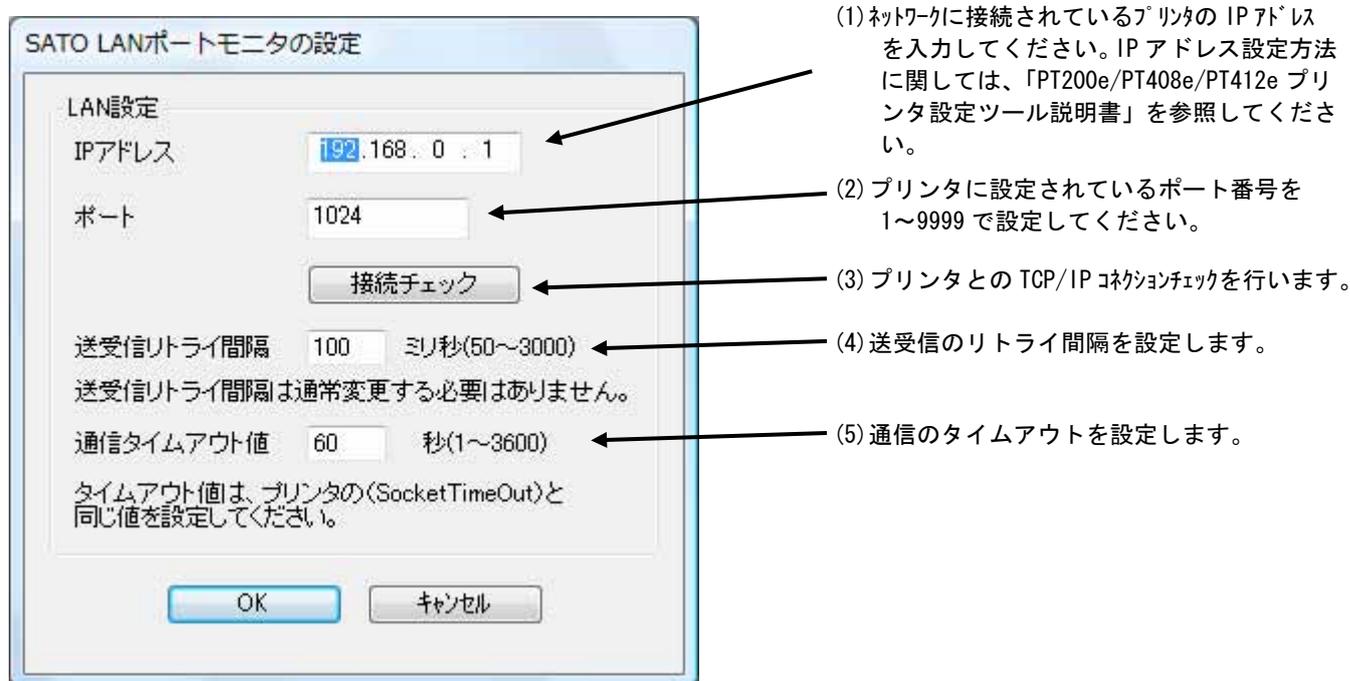
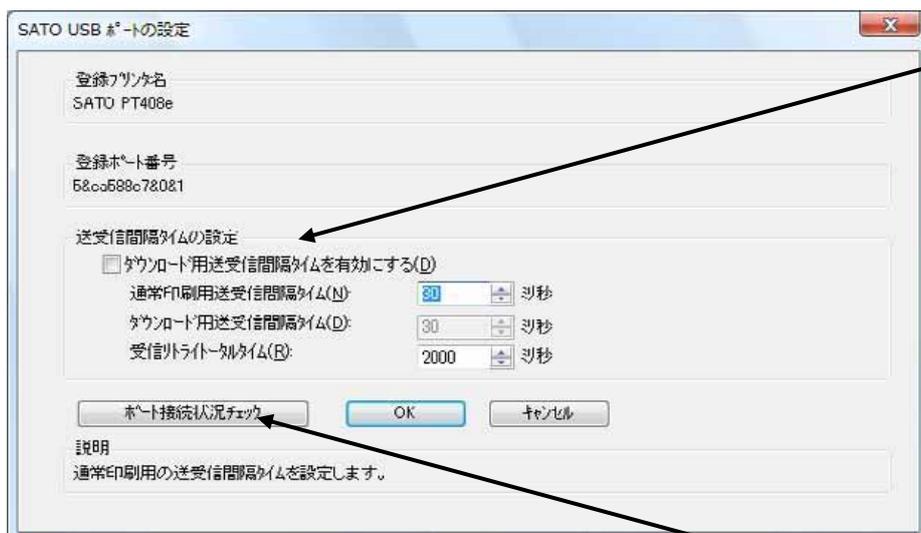


図 1.10.2.3. 「SATO LAN ポートの設定」ダイアログ

③USB (SATO PT USB) ポート

「USB インタフェースマニュアル」も参照してください。

図 1. 10. 2. 4 に「SATO USB ポートの設定」ダイアログを示します。



(a)

(1) ダウンロード用送受信間隔タイムを設定する時にチェックしてください。これはフォントダウンロードツール、ロゴダウンロードツールを使用して、フォント、ロゴをプリンタにダウンロードする時に、プリンタとのステータスを確実にを行うための指定です。チェックすることにより、「ダウンロード用送受信間隔タイム」のみが入力可能な状態になります。フォントダウンロードツール、ロゴダウンロードツールに関しては、「PT200e/PT408e/PT412e フォントダウンロードツール説明書」、「PT200e/PT408e/PT412e ロゴダウンロードツール説明書」を参照してください。

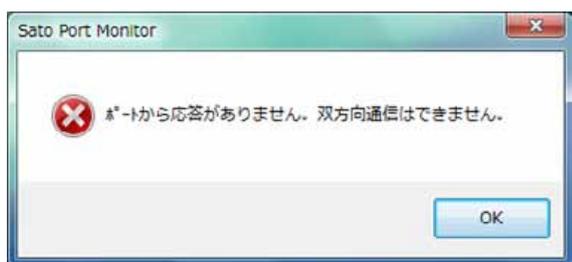
(2) プリンタと USB ポートとの接続状況を確認します。接続状況により図 1. 10. 2. 4 (b) ~ 図 1. 10. 2. 4 (c) に示すダイアログが表示されます。



(b)

図 1. 10. 2. 4 (b) 画面のエラーの改善方法

- (1) プリンタの電源が入っているか確認してください。
- (2) USB ケーブルが接続しているか確認してください。



(c)

図 1. 10. 2. 4 (c) 画面のエラーの改善方法

- (1) プリンタの電源が入っているか確認してください。
- (2) USB ケーブルが接続しているか確認してください。

図 1. 10. 2. 4. 「SATO USB ポートの設定」ダイアログ

2. インストーラ起動手順
2.1. プリンタメニュー画面



図 2.1 プリンタメニュー画面

「SATO アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットしてください。自動的^{※1}に図 2.1 に示す画面が表示されますので、「プリンタドライバ」をクリックします。

※1 図 2.1 の画面が自動的に表示されない場合は、アクセサリ CD-ROM 内の「AcclInstall.exe」をダブルクリックしてください。

2.2. プリンタドライバ画面



図 2.2 プリンタドライバ画面

「図 2.2 プリンタドライバ画面」の「MODEL」で「ラパンシリーズ」を選択し、

「インストール」をクリックすると、「3. インストール手順」

「アンインストール」をクリックすると、「4. アンインストール手順」

に進みます。

2.3. プリンタドライバのインストール方法選択画面

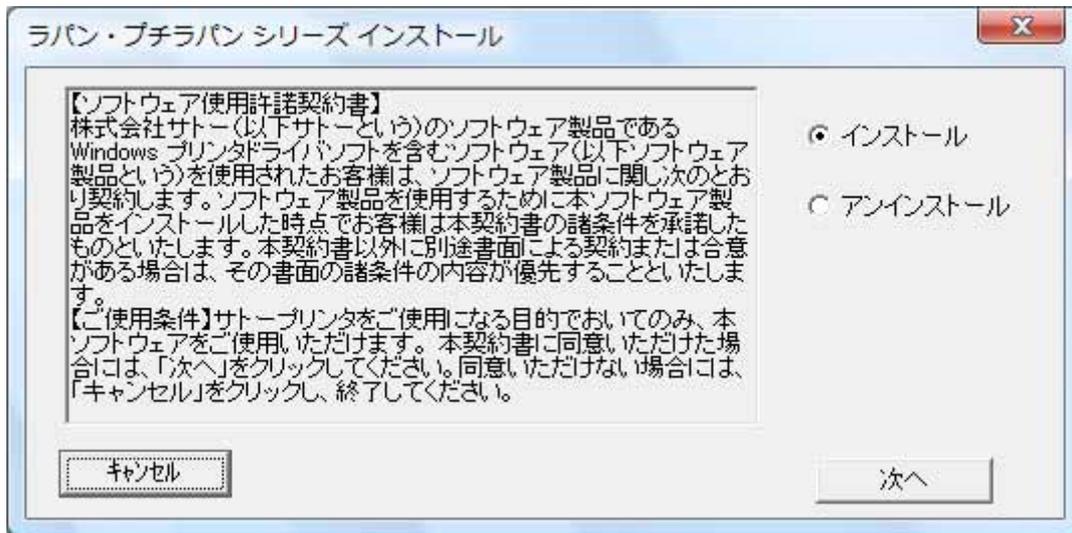


図 2.3 プリンタドライバのインストール方法選択画面

「2.1 プリンタメニュー画面」でプリンタ名をダブルクリックすることにより、本画面が表示されます。

- 「次へ」 「インストール」選択時は、「3. インストール手順」へ進みます。
「アンインストール」選択時は、「4. アンインストール手順」へ進みます。
- 「キャンセル」 処理を中止し、本画面を閉じます。

3. インストール手順

3.1. プリンタドライバ インストール画面

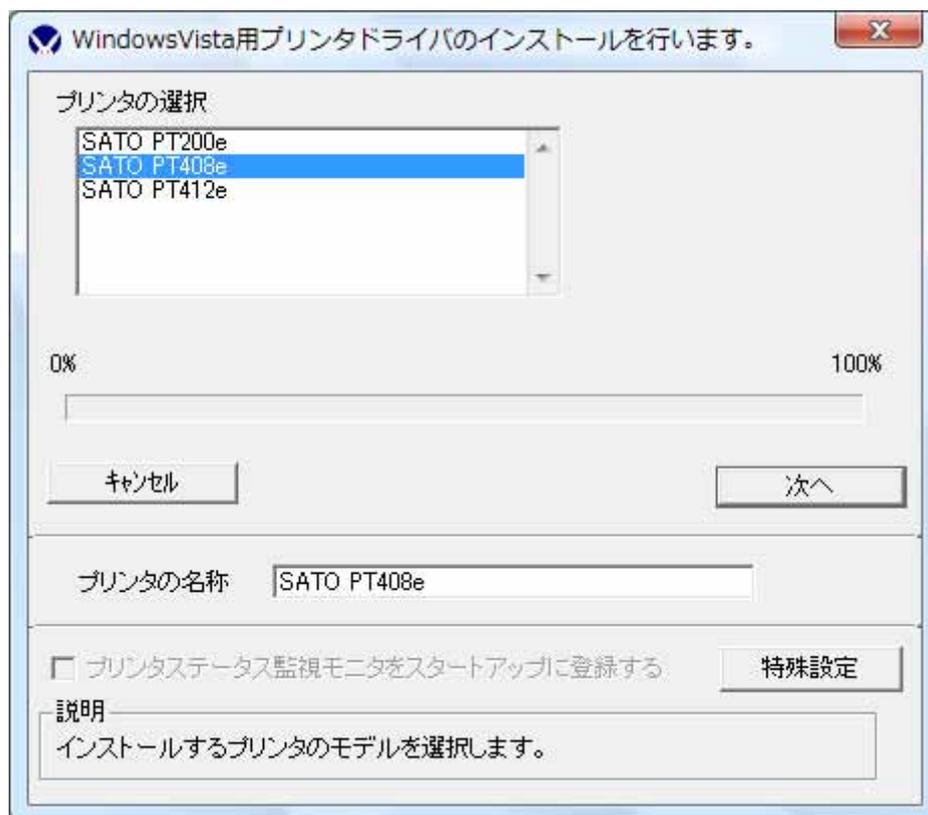


図 3.1.1 プリンタドライバ インストール画面

「プリンタの選択」でインストールするプリンタを選択し、「プリンタの名称」にプリンタ名称を入力してください。「次へ」をクリックするとインストール処理を開始します。

「次へ」をクリックすると、Windows XP/Server2003/Vista/Server2008 では「図 3.1.2 セキュリティ警告画面」が表示されますので、「このドライバソフトウェアをインストールします (I)」を選択してください。(Windows XP/Server2003/Server2008 ではメッセージ内容が異なります。インストール継続を選択してください。)

「キャンセル」をクリックするとインストール処理をキャンセルします。

プリンタを選択した時点で「プリンタの名称」に選択したプリンタの名称がコピー表示されます。本画面での他の機能については以下の通りです。

「特殊設定」

インストールの条件を指定します。詳細は「3.5 特殊設定画面」を参照してください。

「バージョン表示」

タイトルバー上でマウスを右クリックしてバージョンを表示することができます。

※ 「次へ」をクリックするとインストール処理を開始しますが、Vista の場合 OS の動作状況により、「3.2 接続先ポート指定画面」への移行に時間がかかる場合があります。

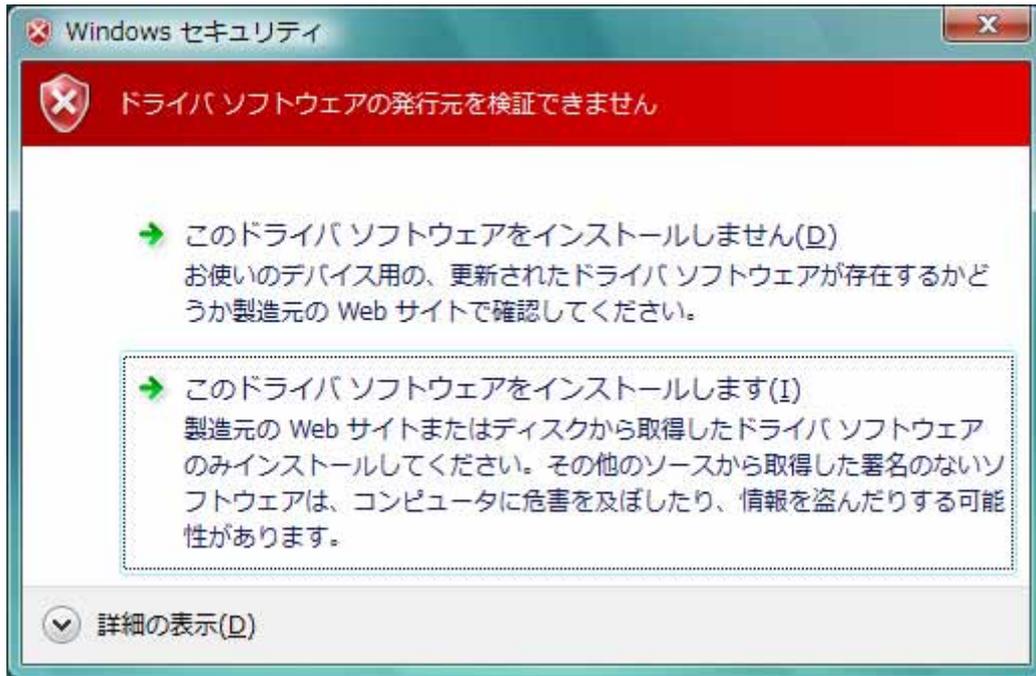


図 3.1.2 セキュリティ警告画面

3.2. 接続先ポート選択画面



図 3.2.1 PT408e/PT412e 接続先ポート指定画面

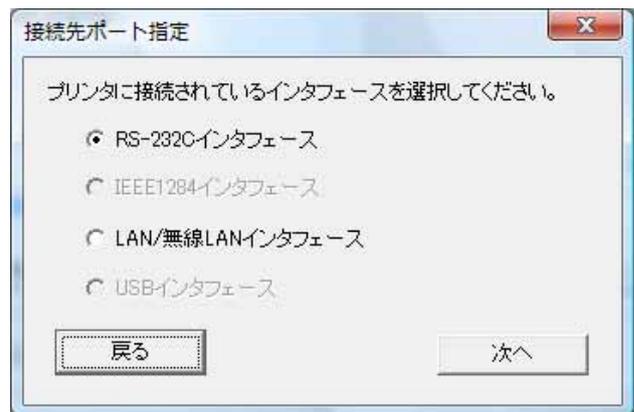


図 3.2.2 PT208e 接続先ポート指定画面

プリンタに接続されているインターフェースを選択し、「次へ」をクリックすると

- ・「RS-232C インタフェース」選択の場合 「3.3.1 シリアルポート選択画面」
- ・「LAN/無線LAN インタフェース」選択の場合 「3.3.3 SATO LAN ポート登録画面」
- ・「USB インタフェース」選択の場合 「3.3.4 SATO USB ポート登録画面」

へ進みます。

「戻る」をクリックすると「3.1 プリンタドライバ インストール画面」へ戻ります。

3.3. ポート選択画面

3.3.1. シリアルポート選択画面



図 3.3.1 シリアルポート選択画面

シリアルポートを「SATO ポート（推奨）」、「標準ポート」のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。「SATO ポート（推奨）」を選択した場合は「3.3.2 SATO COM ポート登録画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると「3.1 プリンタインストール画面」へ戻ります。

ここでは「SATO ポート（推奨）」を選択してください。

3.3.2. SATO COM ポート選択画面

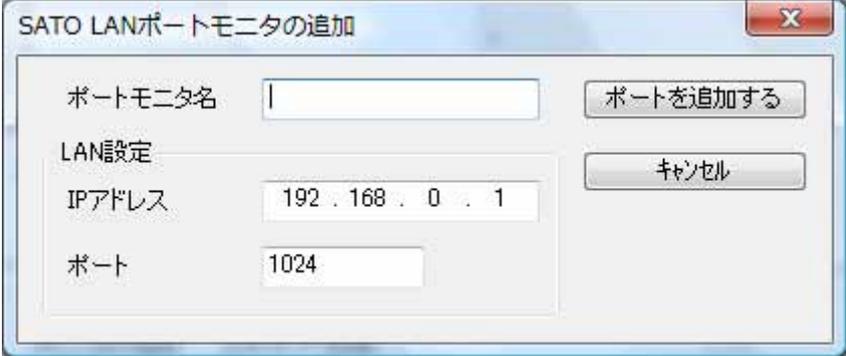


図 3.3.2 SATO COM ポート登録画面

「接続先のポート名」に登録する COM ポート名を入力して、「OK」をクリックしてください。「OK」をクリック後、インストール処理を再開し、「3.4 インストールの終了画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると、「3.1 プリンタドライバインストール画面」へ戻ります。

3.3.3. SATO LAN ポート登録画面



The screenshot shows a dialog box titled "SATO LANポートモニタの追加" (Add SATO LAN Port Monitor). It contains the following fields and buttons:

Field	Value
ポートモニタ名	
IPアドレス	192 . 168 . 0 . 1
ポート	1024

Buttons: "ポートを追加する" (Add Port) and "キャンセル" (Cancel).

図 3.3.3 SATO LAN ポート登録画面

印刷対象の「IP アドレス」、「ポート」を入力して、「ポートモニタ名」に登録する LAN ポート名を入力してください。「OK」をクリックすると SATO LAN ポートを登録して、インストール処理を再開し、「3.4 インストールの終了画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると、「3.1 プリンタドライバインストール画面」へ戻ります。

3.3.4. SATO USB ポート登録画面

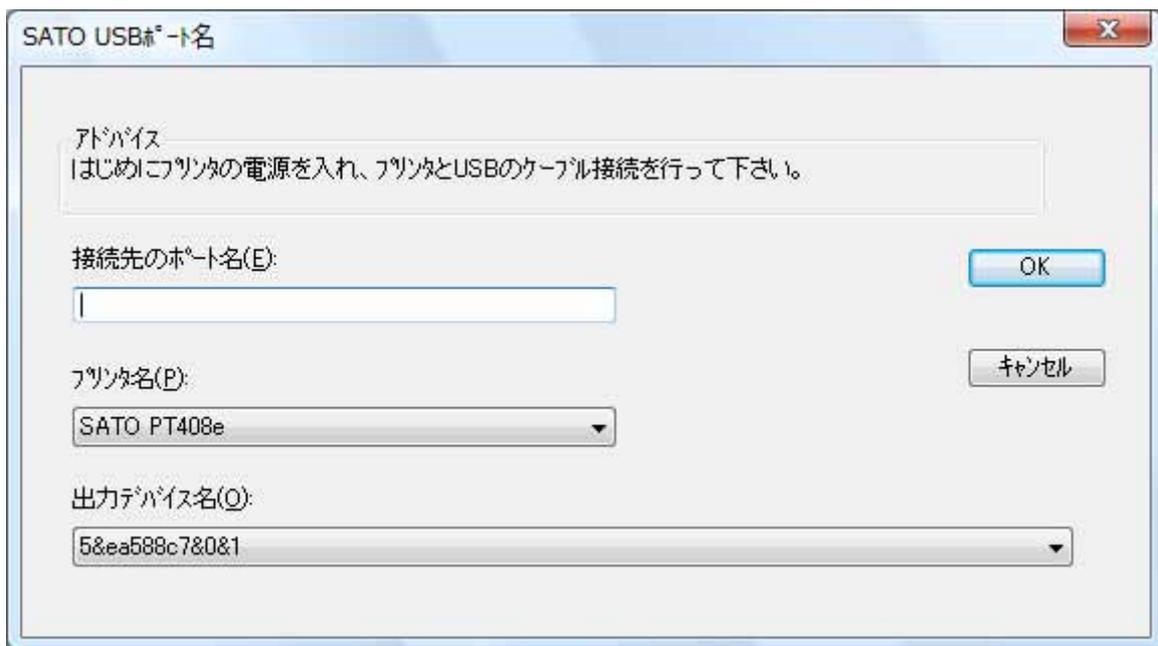


図 3.3.4 SATO USB ポート登録画面

「接続先のポート名」に登録する USB ポート名を入力して、「OK」をクリックしてください。「OK」をクリック後、インストール処理を再開し、「3.4 インストールの終了画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると、「3.1 プリンタドライバインストール画面」へ戻ります。

3.4. インストールの終了画面

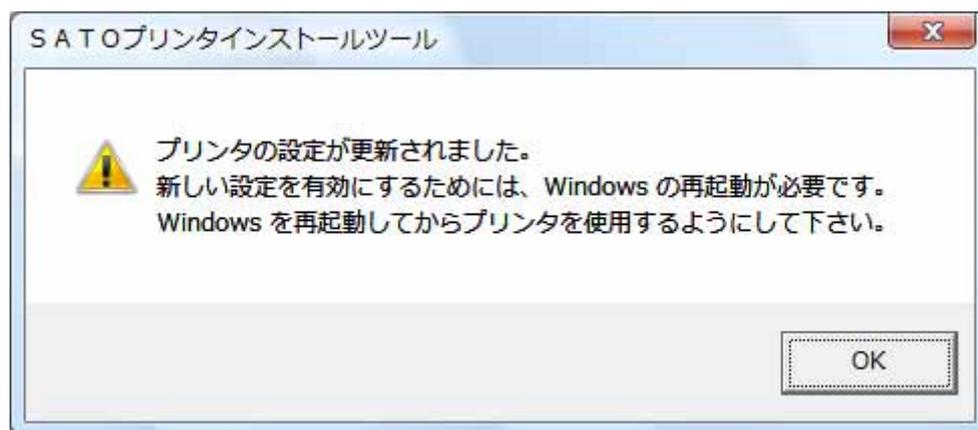


図 3.4 インストールの終了画面

インストールの処理を終了すると、本画面が表示されます。「OK」をクリックして処理を終了させてください。

3.5. 特殊設定画面

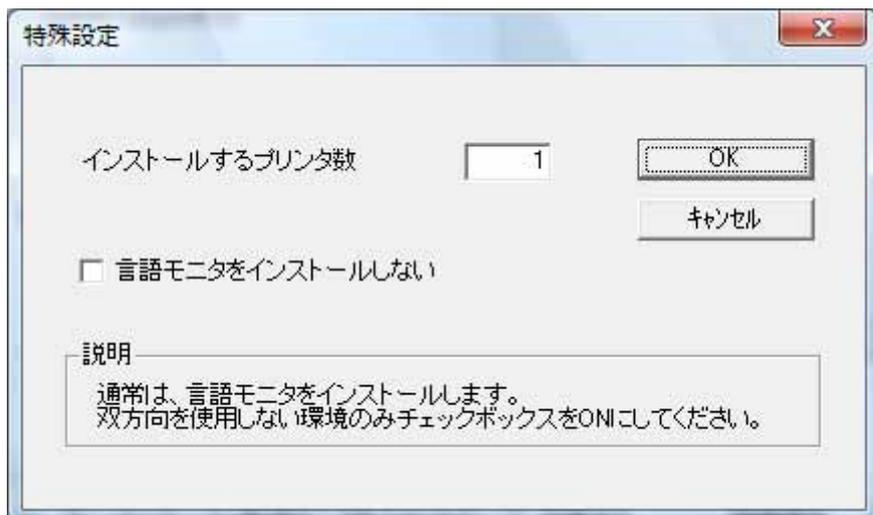


図 3.5 特殊設定画面

「3.1 プリンタドライバ インストール画面」で「特殊設定」をクリックすると表示される画面です。

「インストールするプリンタ数」

インストールするプリンタ数を入力します。

指定範囲は 1～100 です。

初期値は 1 となっていますが、ここで複数のプリンタ数を指定すると、インストールされるプリンタ名は、

SATO PT408e_001、SATO PT408e_002、.

と、入力されたプリンタ名に、自動でシーケンス番号を付加して登録します。

「言語モニタをインストールしない」

通常は双方向通信を行なうため、チェックボックスを OFF のままとしてください。

双方向通信を使用しない環境の場合のみ、チェックボックスを ON としてください。

4. アンインストール手順

4.1. アンインストール画面

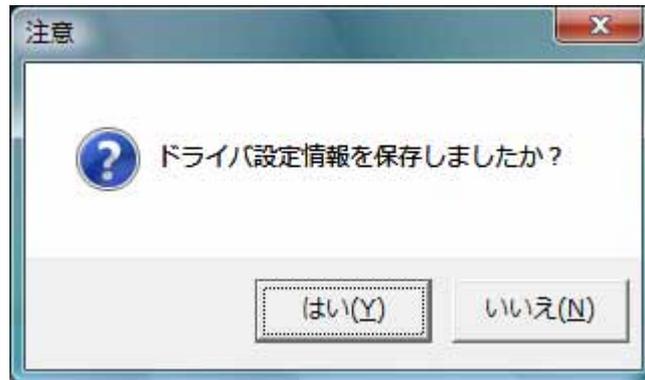


図 4.1 アンインストール ドライバ設定情報保存確認画面

アンインストール起動直後に図 4.1 が表示されます。既にドライバ設定情報を保存しているならば「はい(Y)」をクリックしてください。ドライバ情報を保存していないならば「いいえ(N)」をクリックして、アンインストール作業を中止させてください。

ドライバ情報を保存せずにアンインストールを実行すると、ドライバ使用時に独自に追加した「用紙」や「クリエイティブフォント」に関する設定情報も同時に削除されてしまいます。ドライバを再インストールした際に、これらの設定を復元するためには、ドライバ設定情報を保存しておく必要があります。

ドライバ情報の保存方法については「1.9. ユーティリティ」を参照してください。

4.2. アンインストール プリンタ選択画面

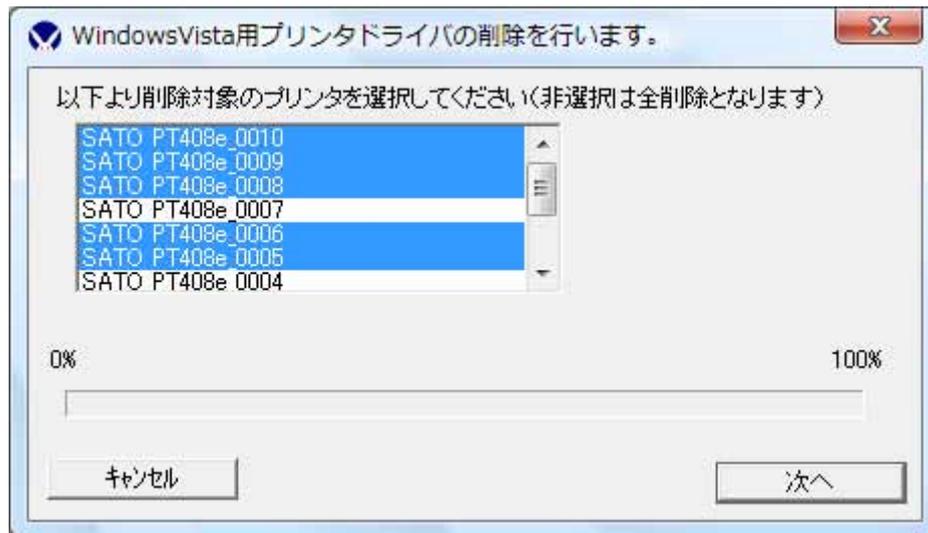


図 4.2 アンインストール プリンタ選択画面

表示されているプリンター一覧より、アンインストールしたいプリンタを選択します（1 台も選択しない場合は全プリンタがアンインストール対象となります）。

「次へ」をクリックするとアンインストール処理が開始されます。

「キャンセル」をクリックすると作業を中止します。

注 1 インストール処理が途中で失敗した場合、アンインストールではなくプリンタプロパティ上でプリンタ削除を行なった場合、インストールされたファイルがシステムフォルダに残ったり、レジストリに情報が残ったままとなります。その場合、プリンター一覧にプリンタ名が表示されないことがあります。 「次へ」をクリックし、アンインストール処理を行なうことによりインストールされたシステムファイルを削除することができます。

注 2 複数のプリンタが表示された場合、全てのプリンタを削除しなければ、インストールされたプリンタドライバ関連のファイルは削除されません（その際はプリンタ名の削除のみとなります）。
プリンタドライバ関連のファイルは、対象となるプリンタ全てを削除した場合に、完全に削除します。

4.3. アンインストール 終了画面

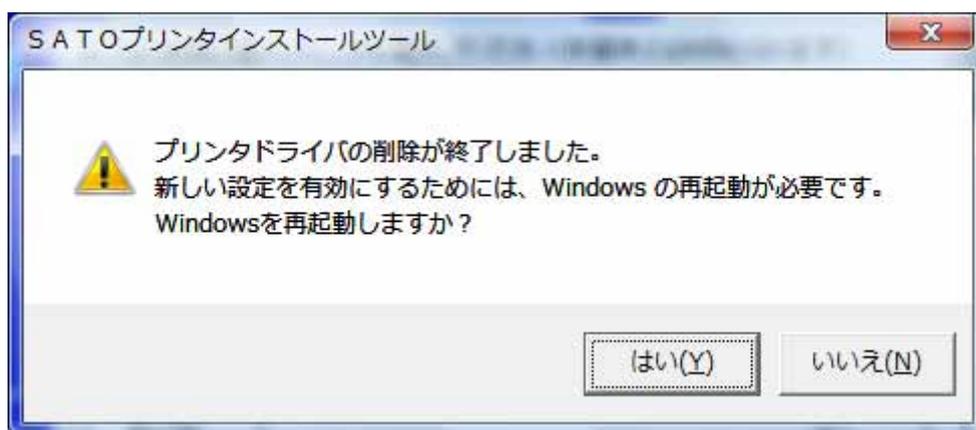


図 4.3 アンインストール終了画面

アンインストール処理が終了すると図 4.3 の画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリックして Windows を再起動させてください。これでプリンタドライバのアンインストール作業は終了です。

「いいえ(N)」を選択した場合には、手動で Windows を再起動させてください。

5. 注意事項

5.1. インストール起動時のエラーメッセージ

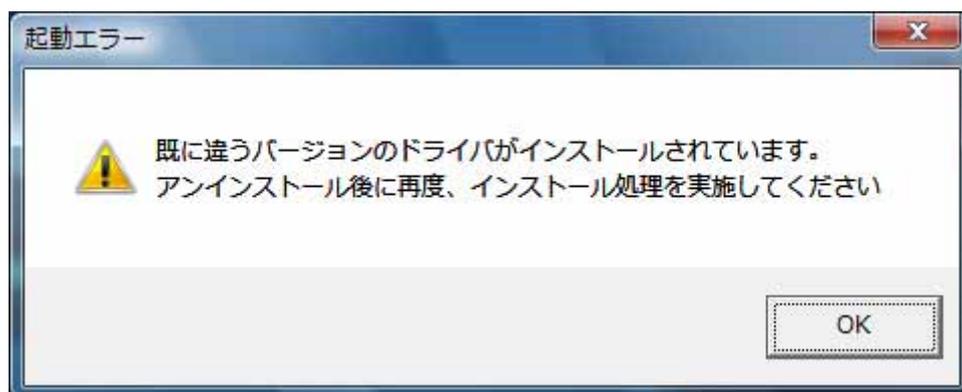


図 5.1 起動エラーメッセージ

インストール起動時に、図 5.1 のメッセージが表示される場合があります。このメッセージは、既に違うバージョンのドライバがインストールされている場合に表示されます。

アンインストール実施後に再度、インストールを行なってください。

注 1 プリンタドライバのインストールでは、インストール先のシステムフォルダに、既に同名のファイルが存在する場合、上書きコピーを行なえません。従って、図 5.1 のメッセージが表示された場合は、必ずアンインストール処理を行なってください。

注 2 インストールが途中で失敗した場合、アンインストールを行わずにプリンタを削除した場合に、システムフォルダにプリンタドライバ関連のファイルが残ってしまい、図 5.1 のメッセージが表示される場合があります。その際はアンインストールを実施後、再度インストールを行なってください。

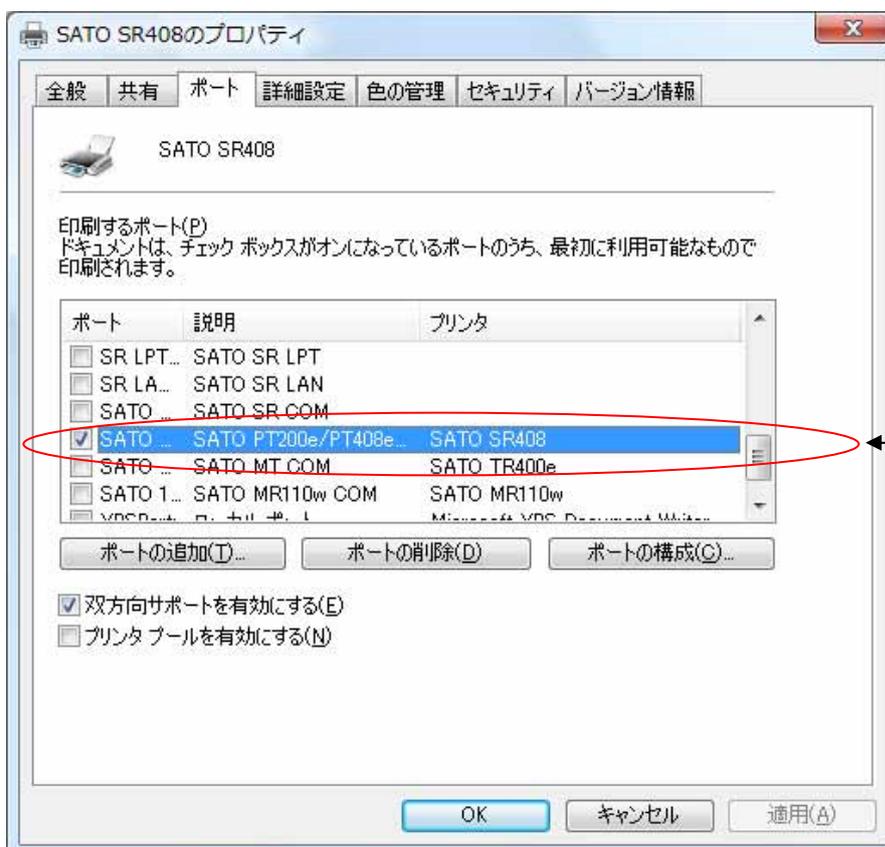
(そのようなケースの場合、アンインストール画面にプリンタ名が表示されない場合があります。「4.2 アンインストール プリンタ選択画面」注 1 を参照してください。)

5.2. アンインストール時のポート共有メッセージ



図 5.2.1 ポート共有メッセージ

アンインストールするプリンタの接続ポートを、他のプリンタでも使用している場合、「図 5.2.1 ポート共有メッセージ」が表示されます。このメッセージが表示された場合は「図 5.2.2 ポートモニタの画面」を開き、ポートの共有を外してからアンインストールを行なってください。



例では、PT408e の COM ポートを SR408 が共有していますので、SR408 プリンタドライバから、この画面を開き、違うポートを選択させます。

図 5.2.2 ポートモニタの画面